

2018年5月21日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

JEITA、新たな市場創出を目指して、「共創プログラム」を創設

第1弾に ALAN(Aqua Local Area Network)コンソーシアム(仮称)を採択

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA : 代表理事/会長 長榮周作) は、より広範な社会課題の解決に向けた、あらゆる産業・業種の企業およびベンチャー企業との「共創」を推進し、新たな市場の創出を促進するため、新たに「JEITA 共創プログラム」を創設したことを発表しました。

JEITA では現在、Society 5.0 の推進、および CPS/IoT の社会実装による新たなビジネスの創出によって、業界をさらに発展させることを目指し、事業を展開しています。2017年5月、JEITA は会員制度に関する定款を変更し、IT・エレクトロニクス業界のメーカーに限らず、IoT に密接に関係する企業に会員の門戸を広げました。JEITA 共創プログラムは、一連の改革に連なる具体的な方策として位置付けられており、新たに参画した企業をはじめとする会員企業や会員になり得る企業からの提案に基づき、新たな事業に取り組む企業や団体を支援する制度です。JEITA 内にオープンなディスカッションの場を設け、新たな産業の可能性を探る活動を一時的に JEITA 事業の一環として事務局機能などをサポートし、その後の進捗状況により、JEITA の新たな部会・委員会への移行等の展開を図るものです。

このたび JEITA 共創プログラムの第1弾に「ALAN(Aqua Local Area Network)コンソーシアム(仮称)」を採択しました。本コンソーシアムは2016年に開催した第1回 JEITA ベンチャー賞の受賞企業である株式会社トリマティス (代表取締役 島田雄史) が中心となって設立準備を進めている取り組みで、水中環境を次世代の新経済圏と捉え、民需に特化した材料、デバイス、機器、システム、ネットワーク等の開発を推進するものです。海中の光応用技術によって、新たに海中マーケットを掘り起し、日本が海中光技術で世界をリードすることも目指し、新たな産業の可能性 (ニーズ) を探り、必要な技術/研究開発を促していきます。JEITA は「共創プログラム」を通じて、本コンソーシアムの立ち上げをサポートし、メンバーの呼びかけや事務局機能などを支援してまいります。

JEITA はあらゆる産業による共創・連携を促進し、Society 5.0 および CPS/IoT の社会実装を推進していくことで、わが国が直面する社会的課題の解決と新たなビジネスの創出を目指してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) 企画管理部 広報室

TEL : 03-5218-1053 E-mail : press@jeita.or.jp